

税制セミナー「税務行政のDX～国税庁が目指すべき姿とその方向性～」

令和6年12月3日に企画委員会財務税制部会主催「税制セミナー 税務行政のDX～国税庁が目指すべき姿とその方向性～」を[デジタルインボイス推進協議会](#)の後援を得てオンラインで開催した。参加者は147名。

本セミナーは、国税庁が推進する税務行政のDXに賛同し、社会のデジタル化のリード役であるITベンダが率先して請求等のデジタル化を進めるべきとの認識に立ち、税務行政DXによる将来像を官民で共有するために企画した。

この企画の背景として、国税庁では、昨年6月に「[税務行政のデジタル・トランスフォーメーション 2023](#)」を発表している。そこでは、事業者のビジネスプロセス全体をデジタル化する視点に立ち、取組の先には社会全体のDX推進にも貢献するという社会的な意義が存することも念頭に置きながら、[事業者の業務のデジタル化推進](#)に取り組むとしていることを受けたものである。[“JISA2030 デジタル技術で人が輝く社会を創る”](#)をミッションステートメントとして掲げて、社会のデジタル化をリードするJISAにおいて税務分野を所掌する財務税制部会の立場では、会員企業の経理部門が業務、特に相手のある「取引のデジタル化」を率先して推進すべきとの認識をもっていることにある。

当日のプログラムは次のとおり。

【プログラム】

主催者挨拶 JISA 企画委員会財務税制部会 部会長 元島 広幸

- 1 税務行政のDX～国税庁が目指すべき姿とその方向性～
国税庁長官官房デジタル化・業務改革室課長補佐 安居和彦 氏
- 2 請求から「作業」をなくそう。～今だから考えるデジタルインボイスの利活用
デジタルインボイス推進協議会
(幹事法人) 弥生株式会社 経営企画本部 政策渉外部
担当マネージャー 岡部 毅 氏
- 3 JISA 事務局の請求のペーパーレス化(紙からPDF ファイル)について
JISA 事務局

(田中)